

令和元年6月大竹市議会定例会(第2回)

一般質問通告表

1.

15番 山本 孝三 議員

質問方式：一括

子ども・子育て支援法の一部を改正する法律案について

法の成立過程の審議においても賛否の両論ありました。ことし10月実施予定の子ども・子育て支援法についてどう受け止めておられますか。

子ども権利条約について

国連子どもの権利委員会による日本政府への実施状況について勧告がなされています。現状はどうでしょうか。

介護保険事業について

第八期事業についてその事業計画の策定はどう進められていますか。事業の策定にあたり留意すべきこと、配慮すべきこと、どうお考えでしょうか。

2.

2番 小田上 尚典 議員

質問形式 一問一答

地域 BWA を活用した公衆無線 LAN の整備について

平成19年に地域 BWA の制度が整備されました。平成27年からは高度化システムの導入に伴い導入が大きく進み、現在は全国で209の市町村で地域 BWA が導入されています。近隣では廿日市市や岩国市でも導入されていますが、この地域の公共の福祉の増進を目的に創設された制度の本市における公衆無線 LAN の活用や今後の展開をどのようにお考えでしょうか。

3.

11番 山崎 年一 議員

質問形式 一問一答

大規模太陽光発電開発の現状と課題について

・現在大竹市地籍において栗谷町大栗林地区と栗谷町谷和地区、廿日市市地籍で大野字嵐谷地区に太陽光発電が計画・実施されています。現在の進捗状況と今後の稼働予定・計画規模等について問います。

・3事業とも弥栄ダムの上流に位置し、弥栄ダムは、大竹市民はもとより広く広島県民も飲料水として利用しています。水質汚染や事故などの場合の生活環境の悪化が懸念されますが対応について問います。

・栗谷町谷和地区の太陽光発電は、下流地域の住民が、飲料水として利用しており、水質汚染や土砂災害の懸念、除草剤散布やパネル洗浄などのほか、放置パネルなどの有害物質の流出による環境汚染について重大な懸念があることから反対されています。対応について問います。

・太陽光発電事業には環境保全の立場から地域住民の皆様から健康被害の懸念や事故に対する不安が指摘されています。良好な環境を保つために、地域に適した情報を提供し、適切な

安全対策が検討されるためには、届け出や環境影響調査を義務づけるなどの条例があれば、行政や住民との良好な関係を築くことができ、住民の不安を取り除き、事業に対する理解が進み、自然エネルギーの健全な立地が進むのではないかと考えます。環境影響評価条例の設置について問う。

4.

3番 末広 和基 議員

質問方式：一括

私の3月本会議一般質問に際し、ご答弁いただいた内容への継続質問

「行政組織文化」に関連して、事例として複合施設建設事業への組織横断的取組みに必要な要件を掘り下げて伺います。

大竹会館の事業を例として組織横断的な複合要素を持った事業の取り組みについての方針や現状は伺いましたが、現行の会計制度においては従来の予算方式・会計方式だけでは、今後あるべき事業ごと、部門ごとでの分割解析管理は不可能と考えられます。今後のセグメント分析などへの道筋からは遠ざかるばかりです。新しい会計制度をベースにした取り組みへの検討を望みます。

工務系の部署において十分記録されているデータが、断面的・継続的な視点で分析・解析に向け情報化・活用化されていないことについて

前回事例に挙げた事故断水工事の記録に類似した、土木建設関連等の記録で、ルールに基づいたデータ形式のみならず、活用可能なデジタル化されたデータベース形式として活かされている事例を伺います。

中小製造業に絞った統計情報を踏まえて、地域活動における関係性について

中小製造業の現状を把握する中で、自治会を中心とした地域の活動組織との関係性の見直しを通じ、これからの可能性を伺います。

5.

14番 田中 実穂 議員

質問形式 一問一答

無償化二法が成立した。その準備について

本年10月から幼児教育・保育の無償化、来年4月から所得の低い世帯を対象にした大学・専門学校など高等教育の無償化が開始される。本市の取り組み準備について問う。

少子高齢化・人口減少対策について

2040年国内の高齢者人口がピークを迎える。一方、人口減少は地方で顕著になってくるといわれる。避けて通れないこの状況をどう乗り越えるか。一人暮らし高齢者の急増などへの対応は。

防災減災対策について

砂防堰堤の整備状況は。